

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理							
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質・性能									3.2
Q-1 室内環境							0.40		3.8
1 音環境							3.0	1.00	3.3
1.1 騒音							-	-	-
1 暗騒音レベル							-	-	-
2 設備騒音対策							-	-	-
1.2 遮音							3.0	0.67	4.4
1 開口部遮音性能							3.0	1.00	5.0
2 界壁遮音性能							-	-	5.0
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)							-	-	4.0
4 界床遮音性能(重量衝撃源)							-	-	3.0
1.3 吸音							3.0	0.33	1.0
2 温熱環境							5.0	0.35	5.0
2.1 室温制御							5.0	1.00	5.0
1 室温設定							-	-	-
2 換気熱・温熱制御性							-	-	-
3 外皮性能					W		5.0	1.00	5.0
4 ゾーン別制御性							-	-	-
5 温度・湿度制御							-	-	-
6 個別制御							-	-	-
7 時相外空室に対する配慮							-	-	-
8 監視システム							-	-	-
2.2 湿度制御							-	-	-
2.3 空調方式							-	-	-
3 光・視環境							2.2	0.25	3.2
3.1 昼光利用							4.2	0.30	3.4
1 昼光率							5.0	0.60	5.0
2 方位別開口							-	-	1.0
3 昼光利用設備					W		3.0	0.40	3.0
3.2 グレア対策							1.0	0.30	3.0
1 曇りガラスのガラス							-	-	-
2 昼光制御					W		1.0	1.00	3.0
3.3 照度							3.0	0.15	-
1 照度							3.0	1.00	-
2 照度均等化							-	-	-
3.4 照明制御							1.0	0.25	-
4 空気環境							3.2	0.25	3.3
4.1 発生源対策							4.0	0.60	4.0
1 化学物質汚染							4.0	1.00	4.0
2 化学系塗料対策							-	-	-
3 デニ・カビ等							-	-	-
4 レジオネラ対策							-	-	-
4.2 換気							2.0	0.40	2.3
1 換気量							3.0	0.50	3.0
2 自然換気性能							-	-	1.0
3 取り入れ外気への配慮							1.0	0.50	3.0
4 給気計画							-	-	-
4.3 運用管理							-	-	-
1 CO ₂ の監視							-	-	-
2 喫煙の制御							-	-	-
Q-2 サービス性能							-	0.30	-
1 機能性							1.0	0.40	3.8
1.1 機能性・使いやすさ							1.0	0.60	5.0
1 広さ・収納性							-	-	-
2 高度情報通信設備対応							-	-	5.0
3 バリアフリー計画							1.0	1.00	-
1.2 心理性・快適性							1.0	0.40	2.0
1 広さ感・景観							-	-	3.0
2 リフレッシュスペース							-	-	-
3 内装計画							1.0	1.00	1.0
2 耐用性・信頼性							2.6	0.31	2.6
2.1 耐震・免震							3.0	0.48	-
1 耐震性							3.0	0.80	-
2 免震・制振性能							3.0	0.20	-
2.2 部品・部材の耐用年数							2.2	0.33	-
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔					W		2.0	0.29	-
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					W		2.0	0.12	-
3 配管・配線材の更新必要間隔					W		3.0	0.29	-
4 主要設備機器の更新必要間隔					W		2.0	0.29	-
2.3 適切な更新							-	-	-
1 床・壁・屋根・外壁仕上げ材の更新							-	-	-
2 配管・配線材の更新							-	-	-
3 主要設備機器の更新							-	-	-
2.4 信頼性							2.6	0.19	-
1 空調・換気設備							3.0	0.20	-
2 給排水・衛生設備							3.0	0.20	-
3 電気設備							3.0	0.20	-
4 機械・配管支持方法							1.0	0.20	-
5 通信・情報設備							3.0	0.20	-

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理				建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数		
	W	G	S							
3 対応性・更新性					3.1	0.29	3.1	1.00	3.1	
3.1 空間のゆとり				階高さ2.9m以上 構造部材を痛めることなく更新できる。			3.2	0.50		
1 階高のゆとり							4.0	0.60		
2 空間の形状・自由さ							2.0	0.40		
3.2 荷重のゆとり							3.0	0.50		
3.3 設備の更新性										
1 空調配管の更新性						3.1	1.00			
2 給排水管の更新性					3.0	0.17				
3 電気配線の更新性					4.0	0.17				
4 通信配線の更新性					3.0	0.11				
5 設備機器の更新性					3.0	0.22				
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.22				
Q-3 室外環境(敷地内)						0.30			2.6	
1 生物環境の保全と創出		G		既存樹木を残し、近隣公園との一体感を配慮。	5.0	0.40			2.0	
2 まちなみ・景観への配慮		G			5.0	0.20			5.0	
3 地域性・アメニティへの配慮					2.0	0.40			2.0	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			S		2.0	0.50				
3.2 敷地内温暖環境の向上	W	G			2.0	0.50				
LR 建築物の環境負荷低減性									3.3	
LR-1 エネルギー						0.40			4.2	
1 建物の熱負荷抑制	W			設計住宅性能評価、温熱等級4としている。	5.0	0.40			5.0	
2 自然エネルギー利用					3.0	0.20			3.0	
2.1 自然エネルギーの直接利用	W				3.0	0.50				
2.2 自然エネルギーの変換利用	W	S			3.0	0.50				
3 設備システムの高効率化	W			潜熱回収型給湯機(FACT)を採用している。	4.1	0.40			4.1	
4 効率的運用										
4.1 モニタリング	W									
4.2 運用管理体制	W									
LR-2 資源・マテリアル						0.30			3.1	
1 水資源保護						1.8	0.15		1.8	
1.1 節水	W			節水型便器を採用している。	1.0	0.60				
1.2 雨水利用・雑排水再利用					3.0	0.40				
1 雨水利用システム導入の有無	W				3.0	0.67				
2 雑排水再利用システム導入の有無	W				3.0	0.33				
2 低環境負荷材					3.3	0.85			3.3	
2.1 資源の再利用効率					3.0	0.37				
1 躯体材料の再利用効率	W				3.0	0.67				
2 非構造材料の再利用効率	W				3.0	0.33				
2.2 持続可能な森林から産出された木材	W									
2.3 有害物質を含まない材料	W				3.0	0.09				
2.4 既存建築躯体などの再利用	W				3.0	0.18				
2.5 部材の再利用可能性	W			仕上げはLGS、戸壁壁は乾式間仕切り壁も採用している。	5.0	0.18				
2.6 フロン・ハロンの回避					3.0	0.18				
1 消火剤	W			ハロン消火剤の使用なし。	4.0	0.50				
2 断熱材	W				2.0	0.50				
3 冷媒	W									
LR-3 敷地外環境						0.30			2.3	
1 大気汚染防止	W				3.0	0.10			3.0	
2 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.05			3.0	
2.1 騒音					3.0	0.33				
2.2 振動					3.0	0.33				
2.3 悪臭					3.0	0.33				
3 風害、日照障害の抑制					1.6	0.10			1.6	
3.1 風害の抑制					1.0	0.70				
3.2 日照障害の抑制					3.0	0.30				
4 光害の抑制					3.0	0.05			3.0	
5 温熱環境悪化の改善	W	G	S		1.0	0.30			1.0	
6 地域インフラへの負荷抑制					3.3	0.40			3.3	
6.1 雨水処理負荷抑制	W				3.0	0.30				
6.2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.10				
6.3 交通負荷抑制			S	集約した駐輪場の設置をしている。スライドラック111台	4.0	0.30				
6.4 廃棄物処理負荷	W				3.0	0.30				

LR-1 用途別得点表		集合住宅				面積按分
		11,935 m ²				総合スコア
1	建物の熱負荷抑制	5.0				5.0
3	設備システムのERRIによる評価					4.1
	高効率化 個別設備による評価	4.1				
3.1	空調設備					
3.2	換気設備					
3.3	照明設備	5.0				
3.4	給湯設備	4.0				
3.5	昇降機設備	3.0				